

着任のあいさつ

本県立天草高等学校長

平田 浩一

天草高等学校同窓会関西同南会の皆様におかれましては、御清祥にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。また、昨年は、創立30周年の節目を迎えられました。長きにわたり絆を深め発展させてこられたことに深く敬意を表します。

さて、私ごと、この度の定期異動で、天草高等学校校長を拝命しました。私自身、第31回卒で、母校に奉職することができ、この上ない喜びと身の引き締まる思いです。微力ながら、郷土に誇りを持ち、郷土を担う、天草の人づくりに貢献できるよう、雛鵬の飛翔を支えていきたいと考えておりますので、今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

現在、全日制は1学年6学級、全校生徒700名程度で、卒業生の約3分の1が現役で国公立大学に合格しており、地域拠点校としての役割を果たしています。また、部活動では、昨年は、女子弓道部(団体)や男子ソフトボール部、女子ソフトテニス部(個人)や男女陸上部(個人)、男子水泳部(個人)、科学部が九州大会に出場するとともに、吹奏楽部



(個人)は、見事文部科学大臣賞(日本一)を獲得するなどの活躍をみせました。定時制は、バドミントンや剣道競技で全国定時制通信制体育大会の出場を果たしたほか、昼過ぎから自主的に勉強会を続けました結果、4年生大学へ4名が進学を遂げました。現在、この勉強会は後輩に引き継がれており、さらにこの春は、前年の倍増となる12名の新入生を迎え、天草における大切な学びと成長の場として、今後さらなる躍進が期待されることとです。

また、昨年度本校は、文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール(S・SH)」の指定を受け、「サイエンスの宝島『天草』から世界へ」を合い言葉に、「地域の豊かな自然環境の中で多様な能力を身に付け、世界に飛躍する科学技術人材の育成」を研究開発課題とし、種々の取組をスタートさせました。2月には天草

市民センターで研究成果発表会を開催し、関係の方々からも非常に高い評価をいただいたところでした。今後更にこの取組を進化させ、生徒の自己実現、進路実現にも繋げたいと思っております。結びに、関西同南会の益々の発展を祈念申し上げます。着任のあいさつとさせていただきます。



天草高等学校 部活紹介

今年も母校の部活を紹介します。進学校ゆえの創意工夫した部活、さらに短い練習時間にもかかわらず優秀な成果を上げていきます。がんばる後輩たちを応援していきましょう。

科学部
平成29年度九州高等学校生徒理科
研究発表大会 優秀賞 (2位相当)



弓道部女子
平成29年度熊本県総体 準優勝

ESS部

ESS部は、一年生4名、二年生2名の計6名で毎週水曜日に活動をしています。今年度は英検2級に3名が合格するなど、一人ひとりが目標を持って英語力向上に励んでいるところです。

主な活動内容は、英語のニュース番組等を見て、ALTの先生とその話題について話をしたり、日常生活をテーマに話したり質問をしたりして英会話に力を入れています。英語力はまだまだですが、週一回ライティブの先生たちとふり話ができる貴重な時間です。文化祭では、ハロウィンをテーマにして、折り紙でかぼちゃの作り方を英語で説明したり、仮装コーナーを準備したりして海外文化に興味を持ってもらう展示をしました。小さい子どもたちにも楽しんでもらえた企画でした。またALTの先生への質問コーナーを作ったりもしました。



昨年7月には、初めてディベート講習会に参加しました。県内の高校生が集まり、「日本は、移民政策を大幅に緩和すべきである。是か非か。」でディベート練習をしました。英文の資料を読み立案

に取り組みましたが、相手の意見や質問を理解したうえで、自分達の意見を分かり易く英語で伝えなければならず、伝える力の重要性を学びました。他校の生徒の英語力に刺激を受けただけでなく、友達を作る良い機会にもなりました。

今年1月には、熊本県高等学校スキットコンテストに出場しました。3人一組で3分のオリジナル英語劇をし、内容・演技・英語が審査されます。今年度のテーマは「BOND」でした。先生方から英文添削や発音指導等をしていただきながら、セリフを何度も何度も発音練習し、豊かな表情作りや動きなど、演技の細かい部分も意識して本番に臨みました。そして本番では最高の演技を披露することができ、大きな喜びと達成感を仲間と共有できました。



これからも英語を楽しみながら、学んだことを生かしつつ、どんどん新しいことにもチャレンジし、社会で通用する英語力を身に着けたいと考えています。

弓道部

私たち天草高校弓道部は、男子5名、女子9名の計14名で活動しています。顧問の辻先生、桑野先生の指導のもと、礼儀正しく、周囲の模範となるような部

活動を目指して日々の練習に励んでいます。

弓道はスポーツである前に武道であり、倫理を伴うものです。よって私たちは、的中するための技術を身につけるだけではなく、「射は進退周還(しんたいしゅうせん)必ず礼に中(あたり)」という言葉にもあるように、何よりも礼を重んじることが大切であると考えています。他者に敬意を表し私たちを支えてくださるすべての方々に感謝の心を持ち、常に謙虚な姿勢であることを心がけています。また、技術の面においても、単的に中てることだけを目的とする射ではなく、弓道の基本である射法八節や五重十文字を意識した、基本に忠実な誰が見ても美しいと思うような射を目標にしています。

天草高校が進学校ということもあり、定期テストや模試など、学業の方も非常に忙しくはありますが、学生の本分である勉強を疎かにすることなく、文武両道を大切にしています。他の学校に比べて、どうしても練習時間の確保が難しくなっています。それを補うべく、矢の一本一本を大切に、短い時間で確実に技能を向上させることができるような密度の高い練習内容を心がけています。

私たちが引く張ってきたく



ださった先輩方が卒業し、2年生が主となる中で、どうすればいいかよく分からない場面が何度もありましたが、その度に部員全員で意見を出し合い、協力することで乗り越えてきました。部員同士の絆の強さはどの部活にも負けていないと思います。今度の高校総体ではその絆を武器に、昨年先輩方と行くことができなかつた全国へ男女両チームが行けるように弓道部一同一致団結して全力で挑んでいきます。天草高校弓道部の名に恥じない射をお見せできるようにしますので、応援よろしくお願いたします。

弓道部主将 久保 柾人

科学部

私たち科学部は、「世界に貢献できる研究を」をテーマに、顧問の宮崎一先生、古田徳仁先生の指導のもと、活動しています。部員は、三年生三名、二年生四名の計七名で、地学分野と生物分野の研究を進めています。本格的に研究に取り組むのは部員全員初めてであり、どのように進めていけばいいのか戸惑いや不安もありました。そんな中、先生方から研究のいろはを一一から教えていただきながら実践を重ねてきました。

八月には神戸で行われたSSH生徒研究発表会に参加しました。日本だけでなく世界各地から高校生が集う大きな大会で、各々の研究成果が発表され大きな刺激を受けました。また、私たちのポスター発表に大学の先生、研究員の方々、文部科学省の方々から助言をいただき、研究

の改善点や発表の仕方など多くのことを学ぶことができました。

十月には、生徒理科研究発表会に参加しました。地学分野で最優秀賞を受賞し、全国総文祭への出場権を手にすることができました。その他、オンラインで世界各地の高校生へ英語で発表をしたり、学会に参加したりするなど、普通の高校生活では体験できないような貴重な経験をすることができました。



こうした活動を通して、見通しを持ち、チームで連携することの大切さを知りました。仲間と協力して、地道にコツコツと研究を積み重ねていけば、必ず結果が見えてくるということも実感することができました。この一年間、大変なこともありましたが、充実した日々を過ごすことができ、科学部に入学して本当に良かったと思っています。

こうした私たちの研究を支えてくださった顧問の先生方を始め、協力して下さった皆さんの方々への感謝を忘れず、これからも活動していきたいと思っています。そして、私たちの研究がこれからの天草高校の科学研究の礎になれるよう精進していきたいと思っています。

「世界に貢献できる研究」を目指して。